

磁石遊びを十分に楽しむ!そのかたわらで...

電気の次は磁石です。5年生では、それをかけもった電磁石を学習しているところです。3年「じしゃくにつけよう」の授業に取り組みながら、5年生の電磁石の授業に取り組む。5年の子どもたちにも、今3年生ではね、と話しながら、系統的に、基礎基本を想起させながら、また、既知を生かしながら学習を進められてとてもよい刺激になっています。

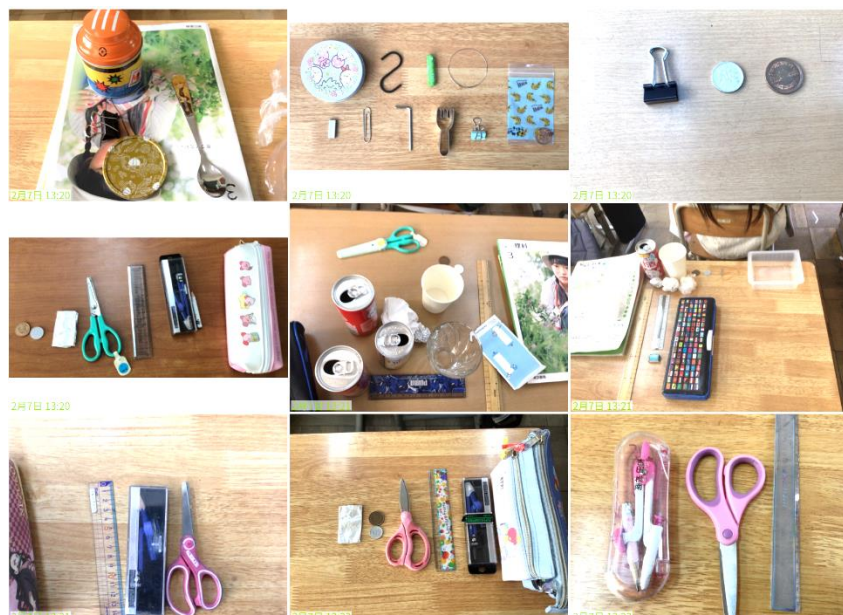
さて、3年生では磁石につきそうなもの、つきそうでつかないものを予想し、家から持ってきたもので調べました。調べるというよりも、磁石で遊ぶ!の方が近かったです。今回は忘れずに、児童が持ってきたものをタブレットで写真を撮ってもらいました。やはり金属製の物が多いみたいです。さらに身の回り

にあるものを集めた子もいました。

磁石に持ってきたものをくっつけて遊ぶ時間をたっぷりとりました。電気が通るのは金属だったけど、磁石にくっつくのもそうかな?くっつかない物もあるかもしれないね。そんな感じでとにかく子ども任せに時間を与えました。

その傍らで、こんな視点も意識させてみました。(授業後、この視点がすごく大切だと再認識しました!)

- ①なぜ? 疑問
- ②すごい! 発見
- ③見て見て! 教えたい



<あれ?> 疑問から問題を見出す活動へ

- ・磁石にNとSと書かれた部分がある。
- ・SとSを近づけても、くっつかなかった。(★)
- ・空き缶の塗装してあるところにもくっついた。

(ヤスリで削ってないのに。)

- ・側面の丸い所にもくっついた。
- ・ラップごしにクリップがくっついた。

(磁石に直接触れてないのに。)



<すごい!> 発見から磁石の性質に気づく

- ・クリップとクリップがつながった。
- ・クリップが磁石を持ち上げた。

<見て見て!> 教えたい 学びを伝え合う

- ・砂鉄がついた。(購入教材の付属品)
- ・ペットボトルの中(キャップ)に入れたクリップを動かせた。(★)

★マークは、みんなの前で発表してもらいました。磁石はどんな物かは、経験は多少あるものの、授業として、学習活動として磁石遊びをすることで、科学的な物の見方が広がり、科学的な考え方を働かせながら、磁石の性質について調べてみたいという思いを高められたのではと考えています。

